

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和5年度 要求額 (千円)	令和5年度 最終査定額 (千円)		令和5年度 要求額 (千円)	令和5年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
住宅部	住宅まちづくり課	空き家対策推進事業	45,000	36,000	空き家の活用による若年夫婦・子育て世帯定住支援	45,000	36,000	積算を精査	単価の精査	1
都心未来創造部	SMIプロジェクト推進担当	SMIプロジェクト推進事業	105,296	80,124	実証実験負担金	38,570	23,918	内容を精査	実施手法の精査	4
都心未来創造部	堺駅エリア整備担当	環濠都市堺の再生事業	31,239	20,239	堺消防署用地利活用方針検討支援業務	11,000	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	9
都心未来創造部	堺駅エリア整備担当	臨海部活性化推進事業(堺駅)	38,112	31,112	堺駅エリア空間再編検討支援業務	5,000	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	12

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	新規・拡充
事務事業名	空き家対策推進事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	建築都市 局 住宅 部	事業番号	017-061
			住宅まちづくり 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	5. 強しなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
		寄与するKPI	有・無	無	取組の方向性	④空家等対策の推進		
	指標名	—						
	現状値	—	目標値	—				
1	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	有	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5, 11.b
		寄与するKPI	有・無	無	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進		
	指標名	—						
	現状値	—	目標値	—				

2 関連計画	さかい 魅力・安心 住まいプラン		
3 事業開始年度	令和 1 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)	空家等対策の推進に関する特別措置法等		

事業の概要

5 事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6 事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内の住宅及びその所有者等
7 事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	空き家対策推進事業により、空家化の予防や利活用等の対策を推進し、安全で良質な住宅ストックの形成に資すること、及び市民の安全で安心な暮らしを確保することを目的とする。
8 事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>空き家実態調査・・・通報による把握に加え、堺市全域の戸建て及び長屋を委託により把握 予防対策・・・空き家所有者への啓発、空き家所有者セミナー（年1回開催） 活用・流通対策・・・住宅専門家相談（月1回開催）、空家等利活用支援業務を実施 空き家の活用による若年夫婦・子育て世帯定住支援を実施 管理不全対策・・・適切な窓口の案内、庁内連携による迅速な対応</p>
9 主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	空き家の活用による若年夫婦・子育て世帯定住支援補助金：中古住宅購入者
10 公民連携・協働事業	協定締結した民間の不動産団体との空家等利活用支援事業

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度		
11 空家等利活用支援業務による利活用提案数	件	目標値	10	10	10	10		
		実績値	20	2				
		達成率	200%	20%				
当該指標を選定した理由		令和2年度に新設、令和3年度から本格実施している空家等利活用支援業務において、空き家所有者に協力事業者から利活用の提案をすることにより、空き家の管理不全化や空き家の解消が進むため。						
目標値の設定根拠・算出方法		空家等利活用支援業務に申込のあった空き家所有者に対し、利活用提案書を提示した件数						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度			
12 空き家所有者セミナー参加人数	人	目標値	15	15	15			
		実績値	10	26				
		達成率	67%	173%				
当該指標を選定した理由		セミナーを継続的に実施し、受講者を増やすことにより、空家等利活用支援業務の制度の周知を行い、また空き家所有者の意識啓発を図ることで、空き家の管理不全化を予防することができるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		セミナーに参加した空き家所有者等の人数						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	空き家対策推進事業	事業番号	017-061
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			決算	決算	決算	予算	予算要求		
		事業費 (a)	7,016	2,930	990	0	45,000		
		国支出金	3,507		445		20,250		
		府支出金							
		市債							
		その他 ()							
		受益者負担金(使用料、手数料等)							
		一般財源	3,509	2,930	545		24,750		
事業費の内訳		(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		空き家の活用による若年夫婦・子育て世帯定住支援	R4	予算			R4	予算	
			R5	予算	45,000	24,750	R5	予算	
			R4	予算			R4	予算	
			R5	予算			R5	予算	
			R4	予算			R4	予算	
			R5	予算			R5	予算	
			R4	予算			R4	予算	
			R5	予算			R5	予算	
			R4	予算			R4	予算	
			R5	予算			R5	予算	
債務負担行為		(単位：千円)							
15	期 間	R ~ R			要 求 額				

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	平成28年度 空家等対策計画策定、令和元年度 空家等実態調査、令和2年度 空家等利活用支援制度開始 令和3年度 すまいのプランニングノート作成、令和4年度 空家等対策計画 (さかい 魅力・安心 住まいプラン) 改定
	R5	空き家の活用による若年夫婦・子育て世帯定住支援補助を実施
	R6以降	事業継続・検証、その他効果的な空き家対策に関する取組の検討・実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	空き家（中古住宅）を取得し、市外転入又は市内の賃貸住宅から転居する若年夫婦・子育て世帯に対して空き家の取得費用等の一部を補助し、空き家の活用と中古住宅の流通促進、及び若年夫婦・子育て世帯の市外からの転入及び市内定住を推進する。
----	---------	---

■ 空き家対策の目的

- 近年、地域における人口減少や既存の住宅・建築物の老朽化、社会的ニーズの変化及び産業構造の変化等に伴い、居住その他の使用がなされていないことが常態である住宅その他の建築物が年々増加している。このような空き家の中には、適切な管理が行われていない結果として安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等多岐にわたる問題を生じさせ、ひいては地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものがある。
- 本市の都市魅力向上のため、管理不全となる空き家の発生を抑制し、利活用可能な空き家については、良質な住宅ストックとして流通させていく必要がある。

■ 事業内容

- 空き家を取得し、市外転入又は市内の賃貸住宅から転居する若年夫婦・子育て世帯に対して空き家の取得費用等の一部を補助し、空き家の活用と中古住宅の流通促進、及び若年夫婦・子育て世帯の市外からの転入及び市内定住を促進する。

■ 補助金額

補助対象経費（不動産売買代金額）の1/2
【上限額】150万円

■ 件数について

予算要求は30世帯分とする。

最大150万円×30世帯 = 4500万円の予算要求



令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	新規・拡充
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	SMIプロジェクト推進事業			事業番号	017-066
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	SMIプロジェクト推進担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④新たな交通システムの導入		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）		
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)
2	関連計画	施策との関連	有	ゴール	ゴール(住み続けられるまちづくりを)		
		取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
3	事業開始年度	令和 2 年度		終了(予定)年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	「交通政策基本法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「道路法」、「道路交通法」、「軌道法」、「道路運送法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間企業					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民及び市外からの来訪者					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	居心地が良く歩きたくなるウォーカブルな都市空間の形成や回遊性の向上により、堺都心部の魅力や賑わい・交流の創出を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	【事業内容】 (1) ウォーカブルで居心地が良い魅力的な都市空間の形成 (2) バリアフリーな都市空間の実現 (3) 拠点間ネットワークの構築 (4) 公共交通の利用促進と脱炭素化 (5) 生活利便性や回遊性を高める情報・サービス連携					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	【スケジュール】 ○令和4年度実施の市民意見募集やSMI都心ライン実証実験で得られた意見やデータ、知見などをもとに、SMI都心ライン等にかかる導入計画を作成。またSMI美原ライン実証実験の結果を踏まえ、さらなる需要喚起に向けた実証実験等を実施。					
9	主な支出先 (委託、補助金・負担金等)	民間企業（コンサルタント、バス運行事業者等）					
10	公民連携・協働事業	民間企業との連携、SMI都心ラインの推進に係る協議会（今後設置予定）					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定) 堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）	単位 人	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和12年度	
			目標値	39,400	43,800	43,900	-
			実績値	33,252	-	-	-
当該指標を選定した理由		堺都心部への来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、堺都心部の活性化状況を把握することができるため					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市基本計画2025において設定しているKPI					
12	活動指標(成果を上げるための手段) SMIプロジェクトの方針や計画策定 実証実験の実施回数	単位 回	実績	実績見込み	目標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	1	3	3	
			実績値	1	3		
当該指標を選定した理由		方向性や進め方等について示した上で、市民や関係者等と協力して実証実験を行い、着実かつ効果的に事業を推進するため					
目標値の設定根拠・算出方法		SMIプロジェクト（素案）及び市民意見募集資料の作成、導入計画の策定、実証実験の実施					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	SMIプロジェクト推進事業	事業番号	017-066
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	決算	決算	決算	予算	予算要求	
事業費 (a)	0	0	9,966	34,991	105,296	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源			9,966	34,991	105,296

事業費の内訳		(単位：千円)							
主な項目	年度	事業費		うち一般財源	主な項目	年度	事業費		うち一般財源
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源	
14 事業費内訳	導入計画作成及び調査分析等委託	R4	予算	25,751	25,751		R4	予算	
		R5	予算	66,306	66,306		R5	予算	
	実証実験負担金【拡充】	R4	予算	9,000	9,000		R4	予算	
		R5	予算	38,570	38,570		R5	予算	
	会場借上料等	R4	予算	240	240		R4	予算	
		R5	予算	420	420		R5	予算	
		R4	予算				R4	予算	
		R5	予算				R5	予算	
		R4	予算				R4	予算	
		R5	予算				R5	予算	

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期間	～	要求額		

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16 R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな交通システムの導入に関する検討 ○SMIプロジェクト（素案）を公表、市民意見募集の実施 ○SMIプロジェクトにかかる実証実験の実施
R5	<ul style="list-style-type: none"> ○導入計画の作成 ○令和4年度の結果を踏まえた実証実験の実施
R6以降	○導入計画を踏まえつつ、実証実験等を通じて、段階的にSMIプロジェクトを推進する。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	○令和5年度については、デジタルサイネージ及び次世代モビリティの活用に関する実証実験や、SMI美原ラインの導入に向けた、さらなる需要喚起や効果的な事業実施に向けた実証実験、これらに伴う調査検討の予算要求を行う。
------------	---

デジタルサイネージ及び次世代モビリティにかかる実証実験について

■ SMI都心ラインにおけるARTステーションについて

- SMI都心ラインは単なる東西交通ではなく、都市と交通が連動することで、都心部の回遊性を向上させ、魅力向上に寄与。
- ARTステーションには、以下の機能を持たせることにより、単なる乗降場所ではなく、拠点とすることが重要。

乗降場所としての機能

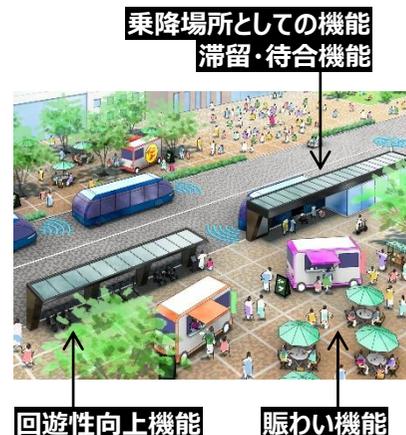
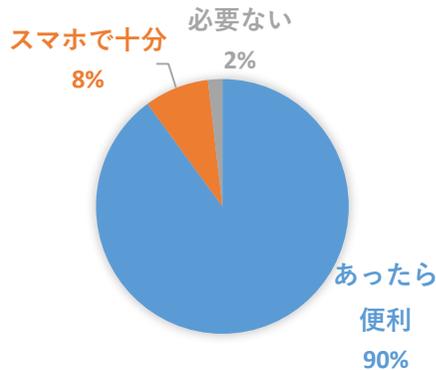
滞留・待合機能

人が交流する賑わい機能

回遊性向上機能

大小路交差点周辺をはじめ、大小複数の拠点化を図ることで都心部の回遊性を向上させ、地域活性化につなげる

〈問〉デジタルサイネージなどの停留所等への設置についてどう思うか



■ 令和4年度の実証実験

〈デジタルサイネージ〉

- デジタルサイネージを活用した情報発信を実施
- アンケートの結果、停留所へのサイネージ等の設置に関するニーズが高かった。

〈次世代モビリティ〉

- 次世代モビリティの体験会を実施
- アンケートの結果、次世代モビリティの利用ニーズが確認できた。

■ 令和4年度の実証実験を踏まえた課題

〈デジタルサイネージ〉

- 実環境で実施し、回遊性向上に関する効果検証が必要
- 多様な世代の回遊性向上やデジタル・デバイドの観点から、有効性の検証が必要

〈次世代モビリティ〉

- 公道での自由な回遊行動についての効果検証が必要
- 利用者のターゲット等を含めたビジネスモデルの検討が必要

■ 令和5年度の実証実験の目的

〈デジタルサイネージ〉

- 大画面のデジタルサイネージを停留所に設置し、公共交通の運行情報や観光情報等を発信して、来訪者等の回遊性向上といった行動変容を図る。(類似事例：船橋市、富士市、小諸市、名古屋市、神戸市、佐賀市、那覇市等)
- スマホが苦手な世代など、デジタル・デバイドの観点から、デジタルサイネージやスマホなど多様なチャンネルにより、幅広い世代や属性に情報やサービスをリーチさせ、情報発信の効果を検証。
- デジタルサイネージとスマホを連動させ、将来的なCaaSの1つのコンテンツとしての活用を念頭に実証実験を実施。

〈次世代モビリティ〉

- 次世代モビリティやシェアサイクルなどの周知・浸透を図るため、デジタルサイネージを活用して情報発信を実施。
- 実際に公道において利用してもらい、回遊性向上への効果について検証。



〈R5予算要求内容〉

要求額：8,570千円

令和5年度 SMI美原ライン実証実験について

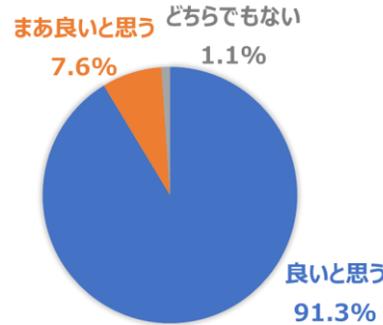
■ SMI美原ラインについて

- SMI美原ラインは、インバウンド需要などの回復、2025年大阪・関西万博の開催、2031年のなにわ筋線開業を見据え、国内外から堺への玄関口となる、堺駅前と美原を東西につなぐことで、美原をはじめとした南河内や南大阪の発展を支える重要な交通インフラとなり得る。
- 主要な鉄道駅を東西方向に結節し、公共交通ネットワークを拡大することで、公共交通の利用促進や利用転換を図り、大阪中央環状線や国道309号などの渋滞緩和にも寄与。

■ 令和4年度の実証実験

- 堺都心部と美原をはじめとした市域東部を直通急行バスでつなぎ、新金岡駅での乗換えを無くすことで、地域や人流の活性化を図った。
- アンケート結果から、「運行されてよかった」、「また利用したい」、「堺都心部や美原方面に行く機会が増えた」、「期間が短く、乗れなかった」、「知らない人が多い」といったご意見を多数いただいた。
- 鉄軌道との交通結節点に停留所を設け、利用者の確保を図った。

〈問〉SMI美原ラインが運行されて良かったと思いますか？



■ 令和4年度実証実験を踏まえた課題

- 認知度の向上による利用者の増加が必要
- 鉄軌道との乗換等による利用のみならず、SMI美原ラインの利用目的の多様化によって、利用者の増加を図ることが必要

■ 令和5年度の実証実験の目的

- 運行期間の延長（45日→180日）や車両ラッピング、沿道施設における案内看板の掲出など、認知度の向上にかかる取組を実施し、さらなる利用者の増加を図る。
- 鉄軌道との乗換目的の利用に加え、SMI美原ラインの利用による各種施設との連携し、SMI美原ラインの利用目的の多様化によるさらなる利用者の増加を図る。

〈R5予算要求内容〉

要求額：30,000千円

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	新規・拡充
事務事業名		事務事業分類	D 建設・整備事業
担当部署名		事業番号	017-063
建築都市	局	都心未来創造	部
		堺駅エリア整備担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立			
		有	有	取組の方向性	①多様な人が集う魅力的な都市空間の実現					
		寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)			
		有	有	取組	ゴール①住み続けられるまちづくりを					
		寄与するKPI	有・無	指標名	ターゲット	11.3				
無	無	現状値	—		目標値	—				
2	関連計画									
3	事業開始年度			平成 24 年度	終了(予定)年度		令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)									
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		堺市民、来堺者 (182.6万人 (2019年度))							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		かつて環濠都市であった旧市街地エリア（環濠エリア）において、歴史・文化資源等を活かした都市魅力の向上や賑わいの創出により認知度を高め、市民が「愛着」や「誇り」を醸成し、交流人口・定住人口の増加をめざす。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		<ul style="list-style-type: none"> ・環濠エリアの魅力向上や堺ランドデザイン2040の実現に向けたエリアの方針、取組内容を示す（仮称）都心未来創造ビジョンを策定し、ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組を進める。 ・堺環濠町づくり推進協議会（環濠茶論）を支援し、SNSの活用など環濠エリアに係る積極的な情報発信等を実施する。 							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		委託業者、堺環濠町づくり推進協議会							
10	公民連携・協働事業									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
	まち歩きイベント等への参加者数	人		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			目標値	100	100	150	200
			実績値	23	100		
達成率	23%	100%					
当該指標を選定した理由		環濠エリアへの来訪者数を増やすため					
目標値の設定根拠・算出方法		イベント参加者数や賞品プレゼントへの応募者数等					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
	Instagramで発信した情報の「延べリーチ数」	-		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	25,000	25,000	35,000	
			実績値	8,099	25,000		
達成率	32%	100%					
当該指標を選定した理由		環濠の認知度を高めるため					
目標値の設定根拠・算出方法		「環濠茶論」公式Instagramのデータより算出					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	環濠都市堺の再生事業	事業番号	017-063
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

(単位：千円)												
事業コスト												
	項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		決算		決算		決算		予算		予算要求		
	事業費 (a)	6,934		3,988		3,000		12,179		31,239		
13	財 源 内 訳	国支出金	1,925		1,917							
		府支出金										
		市債										
		その他 ()										
		受益者負担金(使用料、手数料等)										
	一般財源	5,009		2,071		3,000		12,179		31,239		
(単位：千円)												
事業費の内訳												
	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
		R4	予算				R4	予算				
14	事 業 費 内 訳	プロポーザル委託業務事業者選定 委員会委員報酬	R4	予算	82	82	堺環濠エリア活性化推進検討支 援業務	R4	予算	10,000	10,000	
			R5	予算	0	0		R5	予算	18,000	18,000	
		謝礼金	R4	予算	0	0	堺消防署用地利活用方針検討 支援業務【新規】	R4	予算	0	0	
			R5	予算	123	123		R5	予算	11,000	11,000	
		普通旅費	R4	予算	76	76	協議会負担金	R4	予算	2,000	2,000	
			R5	予算	107	107		R5	予算	2,000	2,000	
		費用弁償 (その他)	R4	予算	12	12		R4	予算			
			R5	予算	0	0		R5	予算			
		印刷製本費	R4	予算	9	9		R4	予算			
			R5	予算	9	9		R5	予算			
		(単位：千円)										
		債務負担行為										
15	期間	R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した情報発信 ・イベント等の開催 ・(仮称) 都心未来創造ビジョン策定、ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組
R5	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる認知度向上への取組 ・ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる認知度向上への取組 ・ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p><市事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組を行う。 <p><協議会事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した情報発信、イベントの開催等を行う。
----	---------	---

環濠都市堺の再生事業

R5年度予算要求額：31,239千円

新規 堺消防署用地利活用方針検討支援業務：11,000千円

背景

「堺市基本計画2025」では、環濠エリアの取組の方向性として「人中心のウォーカブルな空間を公民連携で形成し、まち歩きを促進するなど、都市の賑わいや交流の場を創出する。」としている。

事業目的

かつて環濠都市であった旧市街地エリア（環濠エリア）において、歴史・文化資源等を活かした都市魅力の向上や賑わいの創出により認知度を高め、市民が「愛着」や「誇り」を醸成し、交流人口・定住人口の増加をめざす。

業務内容

・堺消防署は令和6年度に機能移転することを踏まえ、移転後の堺消防署用地の利活用について、市場性や実現可能性等を調査・検討し、利活用方針・事業スキームをまとめる。

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	新規・拡充
				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	臨海部活性化推進事業 (堺駅)			事業番号	017-065
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	堺駅エリア整備担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②駅前空間の再編			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)			
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
		有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを			ターゲット	11.3
		有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		有・無	指標名	-				
		無	現状値	-	目標値	-		

2	関連計画	堺臨海部再生・創造ビジョン (H24.7)、堺市中心市街地活性化基本計画 (H27.4)				
3	事業開始年度	平成 23 年度	終了 (予定) 年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者 (定期利用者を除く堺東駅・堺駅の乗降客数 43,845人/日 2019年度)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	都心地域で市民・来訪者が気軽に海に触れ、みなとや歴史文化の香りを味わうことができる賑わい空間の形成をめざす。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>(大浜北町市有地活用事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化に向けた取組の推進 <p>(堺駅エリア空間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の低未利用地も活用した商業・業務・宿泊機能等の集積、駅前空間の更新、ターミナル機能等の強化 ・国内外からのゲートウェイとして多様な交流を生む拠点の形成 ・豊かな都市生活を育む拠点の形成
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	民間事業者、委託業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11		目標値					
		実績値					
		達成率					
当該指標を選定した理由							
目標値の設定根拠・算出方法							
12	%		実績		実績見込み	目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
		目標値	60	100	95		
		実績値	24	60			
	達成率	40%	60%				
当該指標を選定した理由							
公共施設整備完了が目的達成に寄与するため。							
目標値の設定根拠・算出方法							
公共施設整備の進捗状況							

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部活性化推進事業 (堺駅)	事業番号	017-065
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			決算	決算	決算	予算	予算要求		
		事業費 (a)	70,927	47	24,809	890,971	38,112		
		国支出金				326,280			
		府支出金							
		市債	48,500			474,400	11,200		
		その他 (事業負担金収入)	6,119		15,363				
		受益者負担金(使用料、手数料等)							
		一般財源	16,308	47	9,446	90,291	26,912		
事業費の内訳		(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		大浜北町市有地活用事業公共施設等工事負担金	R4	予算 862,191	61,511	謝礼金	R4	予算 0	0
			R5	予算 25,400	14,200		R5	予算 82	82
		水道管撤去負担金等	R4	予算 24,180	24,180	旅費	R4	予算 4	4
			R5	予算 2,500	2,500		R5	予算 34	34
		堺駅エリア空間再編検討支援業務【新規】	R4	予算 0	0	消耗品費等	R4	予算 16	16
			R5	予算 5,000	5,000		R5	予算 16	16
		調査等業務費	R4	予算 4,200	4,200	施設損害賠償保険料	R4	予算 0	0
			R5	予算 4,200	4,200		R5	予算 40	40
		不動産鑑定手数料	R4	予算 380	380	修繕料・光熱水費	R4	予算 0	0
			R5	予算 380	380		R5	予算 460	460
債務負担行為		(単位：千円)							
15	期間	～		要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで R5 R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ・大浜北町市有地活用事業の推進 ・大浜北町市有地活用事業の推進 ・堺駅周辺エリア空間再編検討 ・大浜北町市有地活用事業完了予定 ・駅まち構想の策定

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・堺旧港周辺活性化の核となる大浜北町市有地活用に向けて、公共施設等の整備を行う。 ・駅・駅前広場・周辺市街地を「駅まち空間」として、一体的にとらえ、堺駅周辺の拠点性強化、機能更新を行う。
----	---------	--

臨海部活性化推進事業（堺駅）

R5年度予算要求額：38,112千円

新規 堺駅エリア空間再編検討支援業務：5,000千円

背景

「堺市基本計画2025」では、多様な人が集う魅力的な都市空間の実現に向けて、堺東駅周辺や堺駅周辺において、公共空間の機能更新や民間開発の促進などにより、商業・業務などの都市機能の更新を図り、多様な人が集う魅力的なエリアの形成を進める。

事業目的

都心地域で市民・来訪者が気軽に海に触れ、みなとや歴史文化の香りを味わうことができる賑わい空間の形成をめざす。

業務内容

- ・ 周辺の低未利用地も活用した都市機能の集積、駅前空間の更新やターミナル機能等の強化
- ・ 国内外からのゲートウェイとして多様な交流を生む拠点の形成
- ・ 豊かな都市生活を育む拠点の形成